



# 株式会社備福通信

## 2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年5月~7月)



発行日 : 2023年10月31日

## 1 環境経営方針

# 株式会社備福通信 環境経営方針

当社は、電気通信工事、電気工事の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的・継続的に環境への取組を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します(電気、ガソリン、軽油、灯油)
3. 事務所での廃棄物の削減を推進します。
4. 建設現場等での建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
5. 水道使用量の削減を推進します。
6. 環境に配慮した施工技術の開発と顧客への提案を推進します。
7. 本方針を全従業員に周知徹底します。



私たちはエコアクション21の活動を通じてSDGsに取り組みます。

制定日：2023年5月1日  
代表取締役 河原 貴行

## 2 取組の対象組織・活動

### 1. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
株式会社備福通信  
代表取締役 河原 貴行
- (2) 所在地  
本 社 千702-8048 岡山県岡山市南区福吉町29-28
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 代表取締役 河原 貴行 TEL:086-264-2694  
担当者 総務部 木村 由紀枝 FAX:086-265-8219  
E-mail:m-katou@bifuku-t.co.jp
- (4) 事業内容  
電気通信工事業、電気工事業
- (5) 設立 昭和45年11月2日
- (6) 資本金 1,000万円
- (7) 事業の規模  
年間工事完成高 330 百万円(2022年度)

	本社	資材倉庫	合計
従業員 (人)	23	無人	23
延べ床面積(m <sup>2</sup> )	232.5	684	916.5
敷地面積 (m <sup>2</sup> )	420.75	1111.3	1532.05

エコアクション21対象従業員数(本社)23名

保有車両

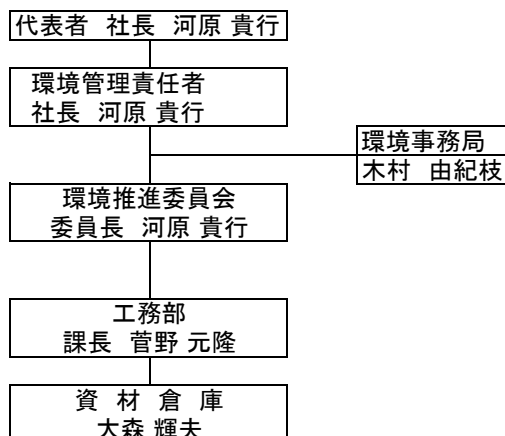
名称	台数
穴掘建柱車	2
ユニック	2
高所作業車	9
トラック	1
ダンプ	2
軽四・乗用車	11

- (8) 事業年度 11月～翌年10月

認証・登録の対象範囲 : 全組織・全活動

登録組織名: 株式会社備福通信  
対象事業所: 本社・資材倉庫  
活 動: 電気通信工事業、電気工事業

### 3. 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>経営における課題とチャンス の明確化</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規制等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括</li> <li>環境経営計画の実施結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境経営計画の実績集計</li> <li>環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施</li> <li>環境教育訓練計画の作成と実施の管理</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営目標、環境経営計画案の審議</li> <li>環境経営の実施状況の評価、見直し</li> <li>環境教育の内容検討、実施結果の評価</li> <li>特定された項目の手順書作成 (緊急事態への対応を含む)</li> </ul>
部門長(部長、工場長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境経営の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の運用管理</li> <li>自部門の環境上の緊急事態の想定と対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

#### 4. 2023年度(試行期間)及び中長期 環境経営目標 および 試行期間の環境経営目標と実績と判定

事業年度:11月～10月

環境目標		単位	2022年度(基準年度)		2023年(5月～7月)			2023年度	2024年度	2025年度	
			通年	5月～7月	目標	実績	判定	目標	目標	目標	
1	二酸化炭素排出量の削減		kg-CO <sub>2</sub>	174,089	40,798	40,390 以下 (1%)	33,395 18.1%	○	172,348 以下 (1%)	170,607 以下 (2%)	168,866 以下 (3%)
	1-1	電力使用量の削減	kWh	27,135	5,450	5,396 以下 (1%)	7,092 -30.1%	×	26,864 以下 (1%)	26,592 以下 (2%)	26,321 以下 (3%)
	1-2	ガソリン使用量の削減	L	17,621	4,429	4,385 以下 (1%)	3,298 25.5%	○	17,445 以下 (1%)	17,269 以下 (2%)	17,092 以下 (3%)
	1-3	軽油使用量の削減	L	45,899	10,679	10,572 以下 (1%)	8,480 20.6%	○	45,440 以下 (1%)	44,981 以下 (2%)	44,522 以下 (3%)
2	水使用量の削減		m <sup>3</sup>	325	110	107 以下 (1%)	86 21.8%	○	315 以下 (1%)	312 以下 (2%)	309 以下 (3%)
3	産業廃棄物排出量の削減		t	0	0	0 以下 (1%)	0	-	0 以下 (1%)	0 以下 (2%)	0 以下 (3%)
4	建設産業廃棄物リサイクル率の向上		%	排出実績なし	排出実績なし	- (1%)	排出実績なし	-	- (1%)	- (2%)	- (3%)
5	製品・サービスに関する事項	工事後の片づけ・清掃の徹底				行動目標	達成	○	行動目標	行動目標	行動目標
6	地域貢献	会社周囲の掃除				行動目標	達成	○	行動目標	行動目標	行動目標

※1 電力の二酸化炭素排出係数は中国電力令和3年度の調整後0.545kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用した

※2 化学物質の使用はありません

※2 元請け工事での建設産業廃棄物の排出はありませんでした。

## 5. 2023年度(試行期間)環境経営計画と評価結果、および、次年度の環境経営計画

取組項目		活動項目		評価結果
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	1	エアコンの設定温度を決め実行	昨年度は5月に旧倉庫兼事務所を取り壊した為、電力使用量が減少したが、本年度は5月から新倉庫兼事務所の稼働により電力消費が増加した。 また、猛暑の為エアコンの使用時間が増加した。
		2	エアコンのフィルター掃除	
		3	節電ステッカーを取り付け 励行する	
		4	アスエネゼロによりCO2の排出量の見える化する	
	化石燃料使用量の削減	1	エコドライブの推進	県外出張等が減少したため概ね目標を達成できた、一部夜間作業の増加により前年を上回った月があった。
		2	車両にアイドリングストップのステッカーを貼り 励行する	
		3	適正温度管理の徹底	
水使用量の削減	1	節水ステッカーを取り付け 励行する	概ね目標を達成できた。	
	2			
	3			
産業廃棄物排出量の削減	1	分別の徹底による有価物化	排出実績なし。	
	2			
産業廃棄物リサイクル率の向上	1	分別の徹底	排出実績なし。	
工事後片づけ・清掃の徹底 会社周辺の清掃	1	草取り、ごみ拾い、水路の清掃	概ね目標を達成できた。	

\* 次年度もこの環境経営計画を継続する

## 6. 環境関連法規等の順守状況の評価の結果

主な環境関連法などおよび順守評価結果は、下表の通りです。

環境関連法規等	順守評価
廃棄物処理法	順守
建設リサイクル法	順守
フロン排出抑制法	順守
省エネルギー法	順守
PRTR法	順守
家電リサイクル法	順守
消防法	順守
岡山市火災予防条例	順守

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、特定されたすべて法規等が順守されていることを確認しました。

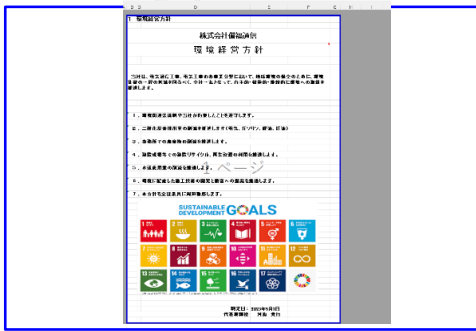
なお、環境関連法規等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

## 7. 代表者による全体の評価と見直し

3Rなどの無駄をなくす取り組みを定着させるため、今後は更なる啓蒙活動を行い、全社員への徹底を図って行く必要があります。

全体としては、非常に厳しい経済状況の中、投資をなるべく抑えて、目標を設定して実行し、目標を達成して来たことは、非常に評価出来ると考えます。

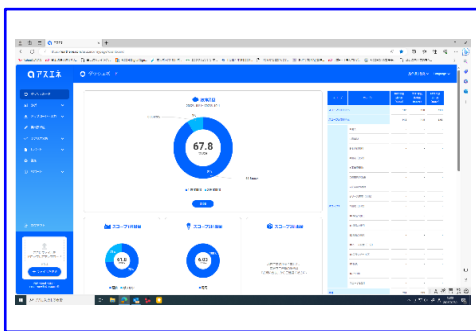
## 10. 環境経営活動の紹介



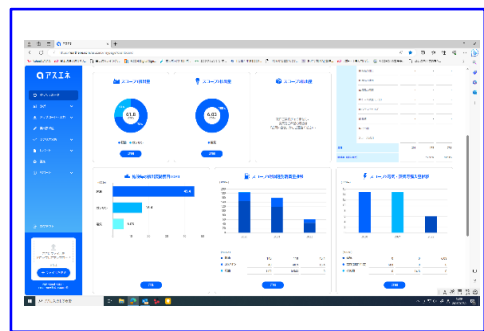
<エコアクション掲示版>



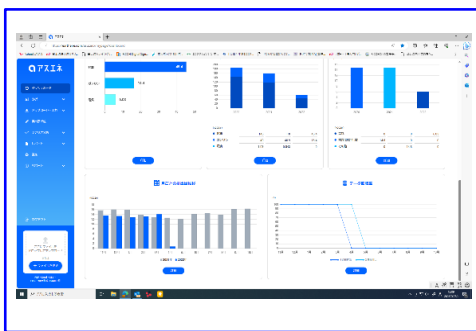
<ごみの分別>



<CO2の排出量>



<電気・化石燃料の使用量>



<排出量推移>



<太陽光発電>



<清掃活動>